

公益社団法人

# 広島県パラスポーツ協会

HIROSHIMA PARA SPORTS ASSOCIATION

広報誌 30号 発行日 令和8年2月27日

#パラスポーツこそ、  
感動する！

Photo by X-1/JPSA

PICKUP  
1

## 第24回全国障害者スポーツ大会

『わたSHIGA輝く障スポ2025』開催

令和7年10月25日(土)~27日(月)

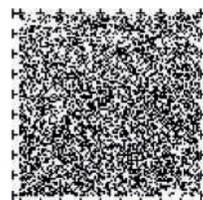
10月25日(土)~27日(月)に、第24回全国障害者スポーツ大会『わたSHIGA輝く障スポ2025』が滋賀県で開催されました。

本大会は、全国から選手が集い、各選手が日頃の練習の成果を発揮するとともに、スポーツを通じた交流や仲間との絆を深める場として、毎年各地で開催されています。

広島県からは、選手39名、役員30名の、総勢69名で大会に臨みました。

広島県選手団は、個人競技として陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャの7競技、団体競技として、ソフトボールに出場しました。

大会期間中、選手は互いに励まし合いながら競技に臨み、広島県選手団としての一体感やスポーツの持つ力を改めて感じる大会となりました。





# 第24回全国障害者スポーツ大会 『わたSHIGA輝く障スポ2025』

## ■大会に向けての練習会

各競技の予選会で好成績を残し、広島県選手団として選ばれた選手たち。大会に向けて、更にパワーアップするため、各競技練習会を行いました。競技力の向上と、選手・役員同士の交流の場となりました。



卓球練習会の様子



ボッチャ練習会での選手・役員の交流

## ■結団壮行式

滋賀県へ向けて出発する10月23日(木)に、広島コンベンションホールで「広島県選手団結団壮行式」を行いました。

派遣選手団の発表では、選手、役員ひとりひとりの名前が読み上げられたのち、旗手を務める陸上競技羽澤 颯一郎選手への団旗の授与や、陸上競技佐藤 楓馬選手による選手宣誓も行われました。式の最後に、金子 真由美団長の掛け声で、会場の全員が「広島県選手団、えい、えい、おー！」と士気を上げて、広島県選手団としての結束を強めることができました。

来賓の皆さまからは激励のお言葉をいただき、応援して下さる皆さまの想いを乗せて、滋賀県へ出発しました。

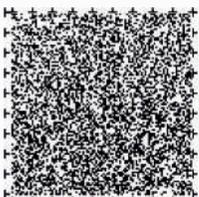


団旗の授与・選手宣誓



広島県選手団と来賓の皆さま

## ■大会中の様子



# 大会開催にご尽力いただいた滋賀県の皆さま、 広島県選手団を支え応援してくださった皆さまに 心より感謝申し上げます



## 広島県選手団競技結果

競技	氏名	種目	記録	順位	
陸上競技	高垣 サユリ	ソフトボール投	15m 33cm	2	
		立幅跳	1m 11cm	2	
	白砂 匠庸	砲丸投	16m 20cm	1	
		ソフトボール投	72m 62cm	1	
	奥田 敬人	50m	7秒13	7	
		200m	29秒29	8	
	佐藤 楓馬	50m	9秒30	1	
		ソフトボール投	38m 88cm	2	
	堀岡 大幹	800m	2分22秒08	6	
		1500m	4分44秒02	4	
	陸上競技	羽澤 颯一郎	4 × 100mリレー	51秒82	5
			100m	12秒19	4
		永谷 拓海	走幅跳	(記録なし)	-
			4 × 100mリレー	51秒82	5
		藤中 すみれ	50m	10秒89	4
			ジャベリックスロー	21m 10cm	1
		小島 知尋	400m	1分15秒88	4
			50m	7秒87	4
		沖原 悠太郎	100m	15秒59	5
			200m	32秒86	4
山崎 空	4 × 100mリレー	51秒82	5		
	100m	31秒94	5		
山崎 空	ソフトボール投	14m 91cm	1		
	100m	13秒31	7		
山崎 空	200m	26秒77	5		
	4 × 100mリレー	51秒82	5		

競技	氏名	種目	記録	順位
水泳	藤原 文代	2.5m自由形	19秒18	3
		2.5m背泳ぎ	22秒84	2
	関川 章子	2.5m自由形	17秒93	1
		5.0m自由形	43秒22	1
	大賀 康平	5.0m自由形	31秒34	6
		2.5m平泳ぎ	17秒64	5
溝下 直孝	5.0m自由形	32秒61	5	
	2.5m平泳ぎ	18秒46	4	
アーチェリー	池田 晃樹	コンパウンド30m ダブルラウンド	571点	7
卓球	桑田 拓弥	一般卓球	4	1
	中原 彩花	一般卓球	2	3
	滝村 淳二	一般卓球	3	2
	堀本 彩夏	一般卓球	3	1
フライングディスク	中満 健成	アキュラシー ディスリート・ ファイブ	7投	3
		ディスタンス メンズ・ スタンディング	27m 01cm	6
	森信 正彦	アキュラシー ディスリート・ セブン	4投	5
		ディスタンス メンズ・ スタンディング	28m 02cm	4
	松廣 倫幸	アキュラシー ディスリート・ ファイブ	4投	6
		ディスタンス メンズ・ スタンディング	28m 32cm	7
水野 蘭	アキュラシー ディスリート・ セブン	5投	6	
	ディスタンス メンズ・ スタンディング	32m 45cm	5	
ボウリング	行里 和志	ボウリング	523	4
	徳山 尚希	ボウリング	437	7
ポッチャ	沖田 護	ポッチャ	3	3
	吉岡 萌乃香	ポッチャ	3	3
ソフトボール	原田 幸希、高橋 大誠、坂本 浩一、北村 侑也、兼安 勇輔、大竹 龍輝、大塚 楓、安部 柊也、青木 一、坂本 裕大、長尾 行紀			優勝 (雨天中止のため、2チーム優勝)

広島県選手団は、個人競技【金メダル9個、銀メダル5個、銅メダル4個】、団体競技ソフトボール(知的障がい)は、あいにくの雨により決勝戦は中止となりましたが、決勝戦にあがった2チームが、優勝することができました。結果に喜ぶ姿や悔し涙を見せる選手たち。選手、役員が、それぞれの思いを胸に一生懸命大会に挑んだ姿は、今大会の愛称のように最高の輝きに溢れていました。

来年度は青森県で「青の煌めきあおもり障スポ」が開催されます。今後の広島県選手団の活躍にご期待ください。

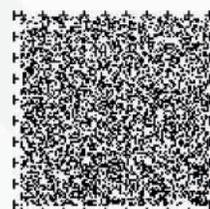
### ■大会をふりかえって

大会期間中、選手の皆さんが全力で競技に取り組む姿がとても印象に残っています。それぞれが一生懸命に挑戦する姿は、とてもカッコよく、役員としても大きな力をもらった瞬間でした。

試合に負けて涙する選手もいましたが、帰る頃には「楽しかった。また大会に出られるように頑張りたい。」と前向きな声に変わり、選手役員ともに大会自体を楽しむ様子が見られました。



また、各競技会場までの誘導、サインや案内スタッフの配置場所が利用者目線に立ったものでとてもわかりやすく、大会やイベントを運営するうえでの参考になりました。広島県選手団をはじめ他の都道府県選手団の頑張る姿、支えるスタッフ、惜しみなく声援をおくる観客を見て、改めて障害者スポーツに関わる責任と喜びを感じました。長い時間をかけて準備をされた滋賀県関係者の皆さん、温かいおもてなしありがとうございました。



## 第6回広島県障害者ボッチャ競技大会

令和7年11月23日(日・祝)に開催した「第6回広島県障害者ボッチャ競技大会」を、第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおり障スポ」の広島県代表選手選考会を兼ねて実施しました。

選手たちは、立位の部、座位の部の2クラスに分かれ、個人戦で白熱したプレーを繰り広げました。

初参加の選手2名も、持っている力を十分発揮し、堂々としたプレーで会場を大いに盛り上げてくれました。

本大会は、ボッチャが持つユニバーサルスポーツとしての魅力を改めて示す場となるとともに、全国大会を目指す選手たちにとって重要な一歩となりました。参加者の皆様、関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



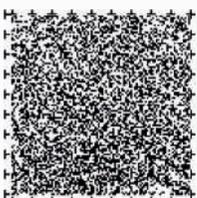
## ボッチャスキルアップ

令和7年11月3日(月・祝)には、県大会前のルールの確認や障害区分判定も兼ねて、スキルアップを開催しました。

これは第1回大会時から続けている取組みで、特に初めて大会に参加する選手や支援者などへ大会出場に係る総合的なアドバイスをすることで安心かつ継続的に出場してもらう目的で実施しています。

当日は広島県ボッチャ協会様より指導者をお招きし、ルール確認や大会時の心得などの知識的な部分から戦術的なことを含めた技術的な指導まで手厚い学びをいただきました。

参加者からは「今後の試合に活かしていきたい」「初めての大会出場なので緊張していたが、今回参加してちょっと安心した」など好評を得ました。



広島県におけるパラスポーツの振興と競技力向上を支える指導者の資質および指導力の向上を目的として、令和7年度も「初級パラスポーツ指導員養成講習会」を開催しました。

本講習会では、初級者向けとして、各障がいの基礎的な理解をはじめ、障がいのある方との交流、パラスポーツ指導者制度の概要、地域におけるパラスポーツの現状など、幅広い内容を学ぶカリキュラムを実施しました。

当日は、大学生や教員、スポーツ推進委員など、さまざまな立場の方が参加され、新たに指導員資格を取得されました。

今後、パラスポーツ指導員として地域や現場でご活躍されることを期待しています。



パラスポーツ推進の取組みについての座学



受講者間で協力してコミュニケーションを取り合う場も



実技を通じた障害のある人との交流



実技を通して指導者に求められる資質を学ぶ

## ■受講者の声

パラ（障害者）スポーツをめぐる現状や課題、そして、その普及に向けた、自身の意識改革も目的に参加しました。

講師の皆様の自らの経験や実践実例を失敗談も具体的に挙げながらの説明がわかりやすく、障害者を取り巻く人権の視点からの経緯や現状、身体・知的・精神等の障害種別ごとの特徴や留意点、そして障害者との接し方、さらにはパラスポーツの実体験やグループでの新しいパラスポーツに係るワークなど、多岐にわたる内容でした。

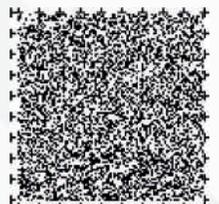
講義や参加者の意見を聞いて、自身の無知を改めて恥じるとともに、これを機に、障害のある人ない人、子どもから高齢者など、バリアがない共生社会の実現に向けて、日常の業務や生活を通じて真摯に取り組むべく、決意を新たにしました4日間でした。



## 公認パラスポーツ指導者とは

公益財団法人日本パラスポーツ協会及び加盟団体等が、公認パラスポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者で、日本国内のパラスポーツの普及と発展を目指して、パラスポーツのスポーツ環境を整備する上で専門的な知識、技術を有する人材の養成、資質向上を目的としています。

(公益財団法人日本パラスポーツ協会HPより)



# 『第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025』に

第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025（東京2025デフリンピック）が11月15日から12日間にわたって、東京都、静岡県、福島県で開催されました。デフリンピックは第1回フランス大会が1924年に行われ、今回は100周年の節目となる大会で、日本では初開催となりました。  
今大会では広島県ゆかりの選手が7名出場し、当協会職員も視察に行ってきました。

## ボウリングに出場した 協会強化指定選手の佐藤 浩美 選手からのメッセージ



この度、東京2025デフリンピックに出場するにあたり、多大なるご厚情をいただき、心より感謝申し上げます。  
皆様の応援のおかげで、憧れの舞台で全力を尽くしてまいりました。  
ダブルス戦、団体戦、混合団体戦の3種目出場し、結果は、団体戦8位入賞と、メダル獲得できず悔しい結果となったのですが、世界レベルの競技者と戦う中で、これまでにない貴重な経験を積むことができました。



私の挑戦を応援してくださった全ての皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。  
ここからさらにレベルアップして、次はもっと良い報告ができるように頑張ります。 佐藤 浩美

## 東京2025デフリンピックで活躍した広島県ゆかりの選手

- 🏆 さとう ひろみ  
佐藤 浩美 選手—ボウリング競技—
- 🏆 いたう ゆうき  
伊藤 優希 選手—卓球競技—
- 🏆 ささき すばる  
佐々木 昂 選手—陸上競技—
- 🏆 おかもと はやと  
岡本 隼 選手—陸上競技—
- 🏆 おくもと れや  
奥元 伶哉 選手—サッカー競技—
- 🏆 なかはし くにや  
中橋 薫哉 選手—バレーボール競技—
- 🏆 かのう たくや  
狩野 拓也 選手—バレーボール競技—

### ■視察を終えて

この度の視察は、「誰でも楽しんで参加ができるスポーツ=インクルーシブ・スポーツ」の普及に向けた取組の一環として実施したものです。日本で初めてのデフリンピック開催ということもあり、地域全体が大会を盛り上げる空気に包まれていました。  
競技運営では、音声情報に頼らない工夫が徹底され、デフスポーツの特徴である視覚的なサインや表示が効果的に活用されていました。陸上競技や水泳の光刺激スタート発信装置や、バスケットボール、サッカーなどにおけるフラッグやランプでの合図はその代表例ですが、さらに、観客にも競技の魅力伝える演出として、「ミルオト」というシステムが導入されていました。



# 協会強化指定選手の佐藤 浩美 選手が出場！！



大会を通じて、選手同士、選手と観客、観客同士、スタッフと観客といったあらゆる関係の中で、ノンバーバルコミュニケーション\*1が共通の基盤として機能していることを実感しました。

協会としても、「誰でも参加できて楽しめる」から、「誰もが“安心”して参加できて楽しめる」へと視点を広げ、より細やかな配慮を大切にしながら、スポーツを通じたインクルーシブ社会の実現に向けて、今後の事業に取り組んでまいります。

\*1 ノンバーバルコミュニケーションとは

“nonverbal”＝「非言語」非言語コミュニケーションのこと。言語によらず、表情・動作・姿勢・音調（声のトーン）・接触などによって行われるコミュニケーション。（文化庁より）

PICKUP  
5

## 各寄贈式・寄贈品 温かなご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます

### ビクトリーランプの寄贈

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」に頂いた多くのご協賛で、パラリンピックなどの国際大会で使用されているポッチャのビクトリーランプを2台、購入させていただきました。



### 競技用車いすの寄贈

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」に頂いた多くのご協賛で、競技用車いす11台（バスケットボール車6台・ソフトボール車5台）を購入させていただきました。



### 生命保険協会 広島県協会様 寄贈式

令和7年度に頂いたご寄付でフットサルゴールを、一対、購入させていただきました。

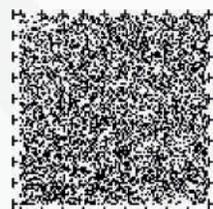


### レガシー助成金によるインクルーシブ・スポーツ用品の寄贈



「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」を広島県廿日市市でメイン会場として開催したことをレガシーとして、レガシー助成金でインクルーシブ・スポーツ用品を10点、「廿日市市多世代活動交流センターフジタスクエア まるくる大野」様に寄贈いたしました。

（左写真：まるくる大野様の周年イベントの予行演習を兼ねて、放課後児童クラブの生徒を対象に、寄贈品のフリスビーを使用したパラスポーツ体験の様子）



楽しく、守る。



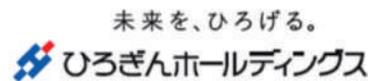
広島八谷建設



このまち思いエネルギー。  
広島ガス



街のフレンドリーバンク  
広島信用金庫



未来を、ひろげる。

ひろぎんホールディングス



Energia 一日も。百年も。  
中国電力



中電工



1967



広島電鉄



村上農園



もみじ銀行



やまだ屋

宮島ロープウエー ヤマネホールディングス株式会社  
株式会社サイエンス 株式会社山崎本社 株式会社エネコム 中国電力ネットワーク株式会社  
株式会社中国放送 株式会社テレビ新広島 広島テレビ放送株式会社  
株式会社広電宮島ガーデン フマキラー株式会社  
株式会社ミカサ 宮島松大汽船株式会社

※協賛企業団体は、10万円以上を掲載させていただいております。※順不同 ※令和7年9月29日現在

### (公社) 広島県パラスポーツ協会 法人賛助会員

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 合田産業株式会社 損害保険ジャパン株式会社  
株式会社GAパートナーズ 株式会社中国新聞社 中国電力株式会社  
中国電力ネットワーク株式会社 株式会社中電工 テラルホールディングス株式会社  
株式会社テレビ新広島 株式会社バルコム 広島ガス株式会社 広島信用金庫  
株式会社広島ドラゴンフライズ 広島八谷建設株式会社  
ヒロマツホールディングス株式会社 マツダ株式会社 株式会社ミカサ  
株式会社村上農園 株式会社やまだ屋 ヤマネホールディングス株式会社

※賛助会員は、10口以上を掲載させていただいております。※順不同 ※令和7年9月29日現在

### 企業版ふるさと納税×広島県パラスポーツの推進



PICTET

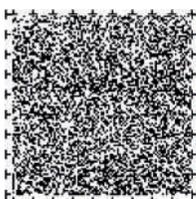
1805

日本生命保険相互会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社サンジュウナナド

※企業版ふるさと納税は、令和7年9月19日までに寄附申請書を広島県に提出された企業を掲載させていただいております。

日頃から県パラスポーツの推進事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
当協会においては、障害の有無にかかわらず、誰もが参画し楽しむことで、パラスポーツの認知を高め、  
スポーツを通じて多様性が尊重される共生社会（インクルーシブ社会）の実現を目指しています。  
今年度、温かなご支援、ご協力を賜りました、企業様・団体様に厚くお礼申し上げます。



発行 公益社団法人 広島県パラスポーツ協会

☐総務経理課・事業運営課  
〒739-0036  
広島県東広島市西条町田口295-3  
スポーツ交流センター内  
TEL：082-426-3333  
FAX：082-425-6789

☐企画推進課  
〒730-8511  
広島県広島市中区基町10-52  
広島県庁スポーツ推進課内  
TEL：082-225-7380  
FAX：082-225-7386

代表メール：hiroshima-psa@vesta.ocn.ne.jp  
ホームページ：https://hpsa.info/

HPは二次元コードからも  
アクセスができます！→

